令和８年度

人権のまちづくり塾

受講者募集
受講無料

誰もが暮らしやすい社会とは…？そのヒントを探す全４回の講座です。
いろいろな角度から、一緒に考えてみませんか？

募集要項

対　象

人権について学んでみたいとお考えの方

受講料

無　料

（研修中の食費、交通費、駐車料金などは自己負担でお願いします）

募集人数と申込期限

前ページに記載

申込方法

郵送、ファクス、電子メール、HP申込フォームのいずれかの方法でお申し込みください。
お申し込みの際は、ＦＡＸ番号、電子メールアドレスにお間違いのないようご注意ください

① **郵送の場合**　受講申込書にご記入のうえ、下記の申し込み・問い合わせ先へ送付してください。

② **ファクスの場合**　受講申込書にご記入のうえ、下記の申し込み・問い合わせ先へファクスしてください。

③ **電子メールの場合**　人権推進課のホームページ（http://www.city.okayama.jp/kurashi/0000003314.html）に掲載している受講申込書に入力し添付の上、下記メールアドレスまで送信して下さい。

④ **HP申込フォームの場合**　ホーム＜市政情報＜パブリックコメント・アンケート＜実施中のアンケート（入力フォーム）もしくは右記のＱＲコード先から必要事項入力の上、送信してください。

申し込み
問い合わせ先

岡山市役所　人権推進課
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目 1-1　本庁舎 9F
電話 086-803-1070　ファクス 086-225-1699
電子メール jinkensuishin@city.okayama.jp

※申し込みされたにもかかわらず、９月上旬に連絡がない場合は、岡山市人権推進課までご連絡ください。
※郵便やＦＡＸの不達や、電子メールアドレスの入力間違いで、申込が完了してない場合があります。
※受付完了のご連絡はいたしませんので、ご不安な場合は、お電話にてご確認ください。

各講座とも、日程・内容などは、諸般の事情により、変更となる可能性があります。

主催 岡山市・岡山市教育委員会　協賛 岡山人権啓発活動地域ネットワーク協議会

第１回　渋染一揆に学ぶ

江戸時代に藩の不当なお触書に対し、被差別部落の人々が団結して立ち上がった「渋染一揆」について学び、渋染の着物や貴重な史料が展示された資料館を見学します。

日時　９月 12 日（土）9:30 ～ 13:00（講義・見学時間は10:00 ～ 12:30）

会場　岡山市人権啓発センター・渋染一揆資料館（岡山市中区神下）
※原則、岡山駅西口に集合し、貸し切りバス（無料）で移動

講師　岡山市人権啓発センター職員ほか

第２回　長島愛生園フィールドワーク ～歴史館から納骨堂まで～

歴史館見学（約１時間）、患者収容桟橋、収容所（回春寮）、監房跡、納骨堂をめぐるフィールドワーク（徒歩約１時間）と、体験型施設でんしょう愛生館見学（約 1 時間）、愛生園学芸員による継承講話（約１時間　入所者の体験談を映像とともに学芸員がお話しします。）や学芸員とのお話（身近な問題について話し合ってみましょう。）（約１時間）を通じて、ハンセン病に対する偏見や差別、人権侵害の歴史について理解を深めていきましょう。

日時　10 月 17 日（土）9:00 ～ 16:45

会場　長島愛生園（瀬戸内市邑久町虫明）
※岡山駅西口に集合し、貸し切りバス（無料）で移動

講師　長島愛生園歴史館学芸員

第３回　岡山刑務所見学

第４回　上野千鶴子さん講演会 映画「あんのこと」上映

第３回、第４回については次ページでくわしくお知らせ➡

第３回 岡山刑務所見学 ～犯罪行為の背景・生きづらさについて考える～

矯正施設の中にいる人の犯罪行為の背景には、たくさんの生きづらさがあります。刑務所見学により、犯罪や刑罰についての理解を深めるだけでなく、受刑者の犯罪行為の背景や人権、更正支援の取り組みに触れ、一人ひとりの人権について考えてみませんか？

日時 11月11日（水）13:30～16:00（見学時間は14:00～15:30）

会場 岡山刑務所（岡山市北区牟佐）
※岡山駅西口に集合し、貸し切りバス（無料）で移動

第４回 講演＆映画上映会

手話通訳・要約筆記あり

講 演 会：上野千鶴子さん
「弱者が弱者のままで尊重される社会とは―ジェンダー平等と人権を考える―」
映画上映：「あんのこと」

女性や社会的弱者を取り巻く課題を通して人権尊重や男女共同参画社会への理解を深め、誰もが尊重されるまちづくりについて考えてみませんか？

日時 令和９年２月11日（木・祝）
13:00～16:30（受付は12:00～）

会場 さん太ホール（岡山市北区柳町2-1-1）

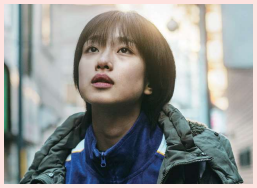
プログラム（予定）

開　会	13:00
講　演	13:10
休　憩	14:10
映画上映	14:30
閉　会	16:25

後藤さくら撮影

上野千鶴子さん

社会学者・東京大学名誉教授・上野千鶴子基金代表理事・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）前理事長。
1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。社会学博士。平安女学院短期大学助教授、シカゴ大学人類学部客員研究員、京都精華大学助教授などを経る。1993年東京大学文学部助教授、1995年同人文社会系研究科教授。2012年立命館大学特別招聘教授。元学術会議会員。専門は女性学・ジェンダー研究、高齢者の介護とケアも研究テーマとしている。
著書に『おひとりさまの老後』（法研）、『女の子はどう生きるか、教えて！上野先生』（岩波ジュニア新書）『フェミニズムがひらいた道』（NHK出版）『挑戦するフェミニズム』（江原由美子との共編著、有斐閣）『上野さん、主婦の私の当事者研究に付き合ってください』（森田さちとの共著・晶文社）最新刊は『報われない社会で、それでも生きる』（アグネス・チャンとの共著・Gakken）などがある。
2024年米タイム誌による「世界で最も影響力のある100人」に選出。


©2023『あんのこと』製作委員会

映画 あんのこと

日本語字幕あり

はじめて、生きようと思った。窓を開け、風を頬に受けて、その先に広がる世界を肌で感じた。
そんな彼女の心を、突然のコロナ禍が容赦なく削り取っていく。

●魂を深く揺さぶる、事実に基づいたストーリー
未曾有の事態が、私たちの社会を根底から揺さぶっていた2020年春。ひと気の途絶えた東京の路上で、１人の女性が命を断った。薬物から更生し、自分の人生を始めようと誓った矢先。パンデミックに行く手を阻まれ、力が尽きた。彼女の目には、一体どんな景色が映っていたのか。何を求め、何と戦い、どこに向かおうとしていたのか。コロナ禍を通じて露わになった、この社会の歪み。不均衡。無関心という暴力。本作は否という女性を通し、その実相を容赦なく突きつける。同時に、単なる社会派ドラマの枠を超えて、生きようとする彼女の意志、その目がたしかに見た美しい瞬間も描き出す。そして静かに、観客に訴えかける。杏はたしかに、あなたの傍にいたのだと。

◇この回は、当日受付先着順（定員278人）です。◇北区地域人権啓発事業との連携講座です。◇公共交通機関のご利用をお願いいたします。

受講申込書

フリガナ				
氏　　名				
住　　所	〒			
電　　話				
F　A　X				
電子メールアドレス				
受講希望回に○をつけてください（第１～３回）	第１回	募集人数 35人		申込期限 8月28日㈮
	第２回	募集人数 35人		
	第３回	募集人数 20人		
	第４回	◇申し込みは不要です ◇定員278人、当日受付、先着順とします ◇定員を超える場合は、入場をお断りする場合がございます		
備　　考	岡山刑務所見学をご希望の方は年齢をご記入ください			

第１～３回の申し込み取扱いについて

◇募集人数を超える回は岡山市内在住者を優先し、それでも超える場合は抽選とします
◇受講の可否（第１～３回）については、申込者全員に郵送でご連絡します（９月上旬）
◇申込期限後、募集人数に達しない場合は、先着順で受け付けます

※記入いただいた個人情報は厳重に管理のうえ、当主催者の事業のみに使用し、他の目的には使用しません。
第３回に申し込みの方は、岡山刑務所にも個人情報を共有させていただきますのでご了承ください。